

江別版「生涯活躍のまち」構想の進め方について

●「生涯活躍のまち」構想の根拠及び必要性

・「生涯活躍のまち」構想は、「東京圏をはじめとする地域の中高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、多世代の地域住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくり」を目指すもの。

・国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において「生涯活躍のまち」(日本版CCRC・・・Continuing Care Retirement Community)構想が打ち出され、それを受けて江別市として平成27年10月の「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、基本目標④「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしと健康を守るとともに、地域と地域を連携する」

→具体的施策(1)「駅を中心とした暮らしやすいまちづくり」

④「だれもが健康的に安心して暮らせるまちづくり」

の中で、「全ての市民が生涯を通じて健康に過ごし」、「地域でいきいきと自立した生活を送ることができるよう」、「地域全体で支え合う体制づくりを推進」するため、「江別版CCRCを検討」することとしている。

①江別版構想の意義、目指す方向

国の構想の目的

- ・高齢者の住み替えの実現
- ・首都圏や大都市一極集中を解消し地方へひとの流れをつくる
- ・生涯いきいきと暮らせる社会の実現

+「江別版構想」の目的

- ・まず江別市民が、生涯いきいきと暮らせるために、転居して生涯住み続けたいと思えるようなエリアを形成する可能性を探る。
- 首都圏からの移住を目指すのではなく、まずは札幌からの移住や江別市内での転居などによる近隣転居型を目指し、生涯にわたり、健康でいきいきと江別に住み続けてもらえることをCCRC構想の目標とする。

③モデル案の検討について

構想検討段階では、本市の地域特性(例えば、自然環境や交通アクセス、大学の立地など)を踏まえたモデル案を作成しながら検討を進める。タウン型やエリア型などタイプ別に検討することなどが考えられる。

②施設イメージ

- ・居住機能
- ・健康でアクティブな生活を支援する機能
- ・ケアが必要になった場合の医療・介護等のサービス提供機能などが提供される施設が考えられる。
- その他、田園地域型(例:家庭菜園)、まちなか型(例:大学の活用)、など地域の特性に応じた検討をする。

④スケジュール

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 6月 | 市民アンケート、インターネットアンケート(札幌・首都圏)実施 |
| 7月 | 有識者会議設置 |
| 9月 | 江別版「生涯活躍のまち」構想案作成 |
| 10月 | 住民説明会 |
| 12月 | パブリックコメント実施 |
| 1月 | 江別版構想の策定 |